

会長あいさつ



みなさんこんにちは、スポーツ推進委員連絡協議会の山口です。
 日頃より本協議会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
 昨年は、東京世界陸上や日本で初めてのデフリンピック、さらにはワールドシリーズでの大谷選手・山本選手の大活躍と、スポーツが感動や勇気・元気を与えてくれました。
 そして今年は、2月の冬季オリンピック・パラリンピックを皮切りに、WBC・FIFA ワールドカップ・第20回アジア競技大会などが開催される予定ですので、また日本中がスポーツで盛り上がる年になることでしょう。
 愛川町は昨年町政70周年を迎え、数多くの記念行事が行われました。今年は町として新時代への第一歩を踏み出すことになるでしょう。そうした中、私たちスポーツ推進委員は、昨年から本格化しました「県央やまなみ地域」交流活動の新たな取り組みとして、6月に清川村との合同主催で、3市（厚木・伊勢原・秦野）を愛川町へ招待し、交流会を行います。
 今年も愛川町の活動はもちろんのこと、町を超えての活動である、神奈川県・県央地区の活動に積極的に参加し、社会体育の振興や発展などの情報を交換しながら交流をし、愛川町をアピールしていきたいと思っております。
 今後ともよろしくお願いたします。

愛川町スポーツ推進委員連絡協議会 会長 山口 淳

神奈川県スポーツ推進委員大会

令和8年2月1日（日）横須賀市文化会館で、県内のスポーツ推進委員が一堂に集まり、神奈川県スポーツ推進委員大会が盛大に開催されました。

アトラクションでは、陸上自衛隊高等工科学校和太鼓部「桜花太鼓」による和太鼓の演奏が披露され、壮大な音色と迫りに会場が盛り上がり、感動しました。

基調講演では、「近代五種の紹介・執念と覚悟」と題して佐藤 大宗氏（自衛隊体育学校・パリ五輪 近代五種 銀メダリスト）の講演が行われました。

講演ではユーモアを交えながらも、夢を持ち、目標を明確にして、執念と覚悟で競技に挑み、緊張により「競技の前に吐いてしまった」と、ご自身の経験について話され、佐藤選手のメダルを取る執念と覚悟に感激しました。

功労者表彰では、長年の功績が認められた県内委員 144 名（愛川町からは今井副会長、川端委員）が表彰されました。

上熊坂区 熊坂 澄雄



【今井副会長の功労者表彰受賞コメント！】

この度、「神奈川県スポーツ推進委員大会」にて功労者表彰をいただきました。
 県内各地で行われた研修会に参加して、ビックルボールやボッチャ等のニュースポーツを楽しみながら、様々な経験をすることができました。
 会長をはじめ、スポーツ推進委員、事務局、区民の皆様を支えられ、お陰様で、10年間はあっという間でしたが、愛川町のスポーツ推進活動に従事することができました。
 ありがとうございました。

【川端委員の功労者表彰受賞コメント！】

この度、令和8年2月に横須賀市文化会館において開催された「神奈川県スポーツ推進委員大会」で功労者表彰をいただきました。これまで、家族の支え、スポーツ推進委員の仲間、事務局の方々、区民の皆様を支えられ、楽しく続けることが出来、「役員をやった良かった」と言えた10年の節目を迎える事が出来ました。更には広報部会での広報作成等にも従事し、貴重な諸体験をさせて頂きました。これを読んで、「スポーツ推進委員になりたい!」と思ってくれる方が増えていくことを祈っております。



第71回愛川町一周駅伝競走大会



第71回愛川町一周駅伝競走大会が令和8年1月11日（日）に開催されました。前日まで嵐のような荒天から、雲一つない快晴のもと、第1部（行政区対抗）に18チーム、第2部（立科町・クラブ・事業所等対抗）に20チームの計38チームが愛川町を駆け抜けました。今年は女子チームも健闘し、怪我や事故もなく、無事に終了しました。



結果は第1部の優勝は細野区チーム、第2部の優勝は立科町チームでした。
 平成元年に「町民みなスポーツの町」を宣言して36年。愛川町一周駅伝競走大会は、町民の身近なスポーツに感じます。一人ひとりが生涯健康であるために、身近な運動やスポーツに取り組み、これからも愛川町が健康の側面からの躍動と発展を続けられるよう、スポーツ推進委員の果たす役割は大切であると改めて実感いたしました。

春日台区 梶原 守

愛川町総合体育大会 陸上競技選手権

令和7年5月18日（日）愛川町総合体育大会 陸上競技選手権が総勢97名の参加者で賑やかに開催されました。当日は朝から愛甲郡陸上競技協会スタッフの指示のもと、競技毎に器具の準備や計測スタッフのサポートを行いました。

小さな子供からご年配の方まで多くの選手が競技を楽しんでおり、スポーツ推進委員として、そんな選手のサポートをする大切な役割を担っていると、改めて実感しました。
 これからも、様々なスポーツを楽しむ人や、これからスポーツを始める人に、スポーツの素晴らしさを伝えて行けるように活動していきたいと思っております。

桜台区 吉岡 去私



神奈川県スポーツ推進委員研修会



令和7年11月23日（日）令和7年度神奈川県スポーツ推進委員研修会が、海老名運動公園総合体育館にて開催され、総勢244名、愛川町からは4名で参加いたしました。

海老名市スポーツ推進委員さんの指導のもと、玉入れ競技の様な「えび玉」、カーリングの様な「カローリング」、フロア上のマスに玉を投げビンゴのように並べて点数を競う「たまビンゴ」と言った内容の研修でした。

どの競技も単純なルールの反面、投げ方や力加減など、それぞれ攻略方法や裏技的なものもあり、始まってみればあっという間に時間も過ぎ、開会式の時には肌寒さで着ていた上着も、気が付けば床へ脱ぐほど、笑いや歓声で盛り上がった研修会となりました。

副会長 三輪 忍

5市町村スポーツ推進委員交流会(県央やまなみ地域交流事業)

令和7年7月12日（土）、厚木市の東町スポーツセンターで、県央やまなみ地域の5市町村によるスポーツ推進委員交流会が開催されました。県央やまなみ地域は、厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村で構成され、この日は各市町村から総勢143名、愛川町からは11名の委員が参加し、2024年に誕生した厚木市発祥のニュースポーツ「セストシューター」を体験しました。

セストシューターは、性別関係なく楽しめるものとして、厚木市のスポーツ推進委員の皆さんをはじめとする検討チームが考案した、身体接触のないバスケットボールのような競技です。
 コート中央に設置されたゴールをめがけて、3～4mほど離れた位置からシュートを狙い、入れば得点というシンプルなものでありながら、ルール設計が絶妙で、実際にプレーしてみると思いのほか難しく、それでいて熱中してしまうスポーツでした。

箕輪区 岩本 悠司

